



OMUPニュースレター

大阪公立大学共同出版会
〒599-8533 堺市学園町1-1
(072)252-1161 FAX54-9408
振込先: 三和銀行中野支店
普通 3976510
大阪公立大学共同出版会
編集・発行 W.WORKS

臨時評議員会開催のお知らせ

本出版会OMUPも皆様方の暖かいご支援により、発起人会を組織して以来、順調に事業推進が展開しつつあります。皆様のご厚情に対し、心より御礼申し上げます。目下の所、会員の皆様には今後とも評議員として本出版会にご協力頂くべくお願いする次第です。

つきましては、下記により標記の集会を開催致しますので、万障お繰り合わせの上、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

【日時】平成13年7月27日
午後3時~6時

【場所】大阪府立大学 学術情報総合センター10階会議室(1)「プログラム」

・特別講演会(午後3時~4時) 大学に於ける学術刊行のすすめ
・三重大学の事例
・三重大学出版会常務理事 阿閉義一(同工学部大学教授)

・臨時評議員会(午後4時~5時) 議題
・第1号議案 評議員の任命について

W.WORKSの業務委託契約が成立

去る2月17日のOMUP設立総会にて承認された業務委託について、事務局を担当していたW.WORKSとの間で、「大阪公立大学共同出版会(OMUP)の業務委託に関する契約」が平成13年5月17日に交わされました。委託する業務内容は、会員管理、会計管理、広報、会議その他報告書の作成等、会の運営事務全般に関するものです。その他、W.WORKSは、個々の出版物の制作に関しても、金井一弘氏とともに活動していただ

新会員募集中!

OMUPが発足し、早や4ヶ月経ちました。会員も100人を超え、OMUPによる出版物第1号も誕生するなど、順調な滑り出しとなりました。これもひとえに皆様方の暖かいご支援のたまものです。さて、OMUPのさらなる発展のために、今後も広く会員を募りたいと思っております。尽きまじらない方がいらつしやいましたら是非お声をかけていただけましたらと思います。会員の皆様方のご協力、

皆様のお手元にお届けするニュースレターも、W.WORKSで制作にあたってもらっています。現在、ホームページの準備も着々と進んでいるようですので、お楽しみに。

著者は語る

OMUPから、待望の第1号出版となる著書が6月末に刊行されました。予定より少し遅れましたが、そのあたりの苦労話など、出版にまつわるエピソードについても、お話していただきました。

新刊に寄す -- 著者の一人として --

大阪府立大学農学生命科学研究科
足立泰二



著者の足立泰二氏とホフマン氏

研究には国境などないものである。しかし現実には我々をはじめ大きな今回のように国際会議での言語が英語に統一されている現実及び、やはり壁が無いとは言えない。それでも本分野は我が国の研究者が国際的レベルで世界に伍して行ける自然科学の中でも少ない分野の一つとも言える。

著者らが取り扱った作物を事例研究の一つとして取りまとめながらも、我々が目指す応用研究への創造的研究を要望し、若く続いて進んでくれる若い研究者へのメッセージ、あるいは示唆を与え得るものとしたい願望があった。一冊を通じて執筆者の寄せ集めで「売れる本」を目指すのではなく、関連分野の研究者がいわば「ほくそ笑みながら」通読し、未完成な研究を若者たちに提示して「知的好奇心」を煽るような本にしようと思図した。とは言え、刊行されたOMUPの第1号として取り上げていただいた書籍として世に問うこととなり、いかにどの貢献をし得るのか不安も募りつつある。

ともあれ、3人の著者の、これまでの交友と学生との合作がこのような形で成就したことを喜びたい。時あたかも大学の改革期、経済至上主義でしか動こうとしない昨今に、大学の複合体としての共同出版事業がここ大阪から出来ることが嬉しい。

第1回OMUPサロンへのお誘い

OMUPでは、書籍刊行とともに、著者が自著を語るサロンを開催することとしています。異分野・異業種の交流を図ることができれば幸いです。新刊本の特別価格でのサービスも容易しています。参加ご希望の方は、下記にご連絡ください。

記

日時: 平成13年度7月20日(金)
場所: レストランGoryo(御陵)
JR阪和線百舌鳥駅下車西へ分
話題提供者: フラウツ・ホフマ 今西茂、
足立泰二
内容: 左記の本にまつわる話を、時間容度の後、会食しながら懇談する。
出席届先: 下欄外の宛先まで

植物の「バイオテクノロジー」の言葉が用いられるようになっておよそ四半世紀が経過した。その間、比較的味な分野ながら数多くの基礎的展開が見られた。

バイオテクノロジーの「カギ技術」として一般的には遺伝子組換え技術、細胞融合技術、そして単細胞培養技術の基礎的技術は大筋において解決を見たとも言える。遺伝子の単離同定は機械論的な展開をし、細胞融合で新奇な植物体が得られるなど一世を風靡した。しかし個人的な感想が許されるならば、2世紀末にはかえって応用に先走り、そして経済優先を標榜するあまり、一般消費者からの不安が突沸するという悲しむべき事態が生じた経緯もある。

一方、植物育種学の新しい展開からすると、筆者らが当初から強調していたことであるが、植物のバイオテクノロジーがこれまでの育種法では乗り越えることが出来なかった有性生殖の壁を克服し、交雑育種の補助的手法であり、これまでの古典的生物学手法の延長線上に2世紀の人類の食糧確保を作物生産の面から支える基礎的成果として期待されるものであった。

その点では筆者らの基礎的考え方は今もって何ら変貌を遂げているわけではない。そのような背景にあって、30年間に培った、かつての若者、現在ではシニアになってしまった3人、すなわち足立、今西、ホフマンが編著者となって、かつての学生、それも外国人を含む学生たちが執筆した。あたらしい千年紀一つの節目として退任する今西茂教授、60の年齢を数える足立と30年もの長きにわたるホフマン教授とが、およそ3年間温めて来たものである。当初、3つの柱を立てた。本来学術

タイトル: "How to Overcome Breeding Barriers by Means of Plant Biotechnology?"
著者: Adachi (府立大)
Imanishi (山形大)
Hoffmann (カリフォルニア大アーヴィン校)
出版社: 大阪公立大学共同出版会



話題沸騰! 重版出来!

『これが大阪の手話でっせ』本体価格 1,500円
編集: 『これが大阪の手話でっせ』出版編集委員会
発行: 社団法人大阪聴覚障害者協会・大阪手話通訳問題研究会・大阪手話サークル連絡会
編集協力および発売元: 星湖舎
大阪の地名・名所・言いまわしなどを掲載した手話の専門書。タブー視されていた「性」の手話表現にもキャラクター。

星湖舎はOMUPを応援します
星湖舎連絡先 〒540-0024 大阪市中央区南新町1-4-9
昭とビル 408 TEL:06-6245-5974 FAX:06-6945-6808 メールアドレス: seikosya@pep.ne.jp

OMUPから出版を! お願いたします。

OMUP出版物第1号に続き、第2号の出版企画も始まりました。さらに、OMUP独自のISB Nコードも取得して、広く販売することが可能になりました。当出版会は、多くの優れた学術図書を広く出版してこそ、その意義が実現されることでしょう。皆様方アイディアあふれる企画をお待ちしています。

また、前回お知らせしました、学問の面白さを伝える共著の企画について、金井氏より提案がありました。OMUPが大学、学部、部、科を取り外したところで立ち上がった設立のメモリアル的な出版物となるようなものを考えています。学問に進もうとする若者に、社会人にも、「学問の面白さを、楽しさ」を伝えていくような知的な好奇心を刺激する本。そんな書籍になることを編集の第一の方針とさせていただきます。ご意見、ご感想をお聞かせください。